

2026年4月始動 星が丘キャンパス 学びのクロスオーバー

学部の枠を超えた幅広い学びを提供する「学びのクロスオーバー」が、星が丘キャンパスでスタートしました。学生は所属学部で「学びの軸」となる科目を履修した上で、他学部も含めた専門科目によって学びを深め、自分ならではの強みを培います。

学部の枠を超えて強みを培い、
グローバル社会で自分らしく輝く。

愛知淑徳大学の星が丘キャンパスには、交流文化学部、ビジネス学部、グローバル・コミュニケーション学部、国際色豊かな学部であり、それぞれが特色あるカリキュラムを編成しています。各学部の学びを有機的に連携させることによって、星が丘キャンパスを拠点とする学生がグローバル社会に必要な知識やスキルを主体的に身につけられるよう、学部横断の履修制度「学びのクロスオーバー」が導入されました。クロスオーバーは2026年4月にまず、交流文化学部とビジネス学部の2学部を導入され、2027年4月からはグローバル・コミュニケーション学部も加わり3学部でのクロスオーバーが始まります。

「学びのクロスオーバー」では、各学部の主要科目群「コア」以外は3学部の開講科目から履修可能です。学生は所属学部で自身の「学びの軸」となる科目を履修した上で、3学部それぞれの科目や科目群を組み合わせ、学びを深めていきます。この垣根を超えた学びが、学生の多様な意欲に応え、さらなる意欲を育みます。自分ならではの強みを磨き、自分らしい未来を拓く、その一歩を後押しします。

2027年度より

2026年度より



グローバル・コミュニケーション学部

All Englishの環境のもと、高度な英語運用能力、英語コミュニケーション能力、課題発見・解決能力、幅広い国際教養を養成。人、地域、世界の架け橋となる人材を育てます。



ビジネス学部

経営学、商学、会計学、経済学、世界のビジネス事情や英語でのビジネスコミュニケーションなどを学修。知力・行動力の両面で即戦力となるビジネスパーソンを育成します。



交流文化学部

英語、中国語、韓国・朝鮮語に加えて国際交流や異文化を学ぶランゲージ専攻と、ホスピタリティ、観光ビジネス、まちづくりを学ぶ観光専攻の2専攻で構成。社会の発展、多文化の共生に貢献できる人材を育てます。

コア 各学部の主要科目

All Englishの授業に必要な、英語運用能力や英語コミュニケーション能力の向上をめざす科目など

マーケティング、経営学などの入門科目、コミュニケーション能力の向上をめざす科目など

言語学、英語、中国語、韓国・朝鮮語、観光の入門科目など

グローバル 海外のビジネス事情、海外の文化、国際交流について学べる！

- Critical Thinking
- Business Writing
- Data Analysis
- Business Presentation
- 国際ビジネストrend
- グローバルビジネス
- 国際経営
- ビジネス英語
- 地域文化
- ホスピタリティ
- イングリッシュ
- アジア史
- 世界遺産論

8単位以上修得

クロスオーバー テーマ別にまとめた「科目群」＝「モジュール」を自由に組み合わせて自分だけの学びを創ろう！

- 異文化コミュニケーション
- 国際日本学
- グローバル社会
- マーケティング
- アカウンティング
- マネジメント&ストラテジー
- 企業分析
- ファイナンス&ビジネスデータ
- イングリッシュ
- チャイニーズ
- コリアン
- 国際交流
- 観光ホスピタリティ
- 観光まちづくり

40単位以上修得

アクティブ みんながアクティブに学べる！現場で実際に行動しながら生きた学びを実践します。

- Intercultural Training
- Internship in the Global Age
- Diversity and Society
- 社会連携チャレンジ
- 企業分析チャレンジ
- 株式投資チャレンジ
- 言語研修
- エアラインスクール
- フィールドスタディ

2単位以上修得

ゼミナール 交流文化学部、ビジネス学部、グローバル・コミュニケーション学部開講のゼミナールの中から自由に選択可能。興味関心に応じて専門をより深めていきます。



グローバル・コミュニケーション学部長
中郷 慶 教授

将来の可能性を広げる学びに、
自分と深く向き合って
挑んでほしい。

グローバル・コミュニケーション学部では、すべての専門教育科目が英語で開講されます。また、毎学期10数人の留学生が在籍するため、海外で学ぶのと同じ環境に身を置くことができます。「学びのクロスオーバー」によって、交流文化学部とビジネス学部の学生もこうした環境で学ぶことができ、グローバルマインドを涵養できると期待しています。どのようなスキルや知識を身につけ、将来は何をしたいのか。学生それぞれが考えを深めた上でクロスオーバーを積極的に活用し、視野と可能性を大いに広げてほしいと思います。



ビジネス学部長
三浦 克人 教授

学部横断の
幅広い学びを通して、
自分らしい未来を拓こう。

「学びのクロスオーバー」によって、異なる学部の学生が同じ授業やゼミで学ぶことは、互いにとって大きな刺激となるはず。多様な視点や学び方、問題意識に触れることは、研究テーマを発展させ、進路選択の可能性を広げます。また、教員にとっても、他学部の学生の反応や学び方を知る貴重な機会となり、教育方法やカリキュラムのさらなる改善に活かせると考えています。学部の枠を超えて主体的に学び、自らの可能性を切り拓く—そのような学びを、星が丘キャンパスの学生には存分に実践してほしいと願っています。



交流文化学部長
太田 浩司 教授

学生一人ひとりの
主体性を高め、
「違いを共に生きる」学びを実現。

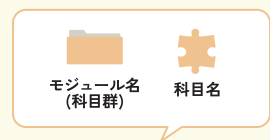
「学びのクロスオーバー」は、学生が学べる範囲を広げ、大学での学修・研究について主体的に考える機会となる履修制度だと感じます。各学部が授業を提供し合うことでフュージョン現象が起り、大学の理念「違いを共に生きる」が日々の授業の中でも実現されます。異なる側面から同じものを見ることにより、学生たちの思考も刺激され、活発な授業が展開されていくでしょう。「違い」に対して柔軟でしなやかな姿勢で向き合える人材を、星が丘キャンパスから国内外の幅広い分野へ送り出したいと考えています。



「学びのクロスオーバー」のモデルケース

自分の興味や将来の目標に応じて、3学部の科目を自由に組み合わせる。

学生は所属学部の「コア」を履修して自分の「学びの軸」を築いた上で、興味・関心や目標とする進路に応じて3学部のモジュール(科目群)や科目を選択。学部の枠にとらわれず、一人ひとりが自分らしい学びを深めます。



交流文化学部 観光専攻 Aさん
観光とマーケティングを学び、観光業界へ!

交流文化学部 ランゲージ専攻 Bさん
国際交流や地域文化を学び、ソーシャルビジネス業界へ!

ビジネス学部 Cさん
ファイナンスとまちづくりを学び公務員へ!

グローバル・コミュニケーション学部
異文化コミュニケーションコース Dさん
グローバル企業で働きたい!

